



【対策例】
射撃場の利用者が鉛弾を回収している。
鉛弾の回収は、なるべく土砂と混ざらないように小さなハケやショベルを使用している。



この射撃場では、射撃場内に軽トラックが走行できる簡易な道をつくり、仮置き場まで運搬している。



【対策例】

この射撃場では、射撃場関係者が、鉛弾の回収作業をオフシーズン1ヵ月間に3～4人程度で4回/週（計16回程度）実施している。

【処理能力】

鉛弾 180kg 程度/日



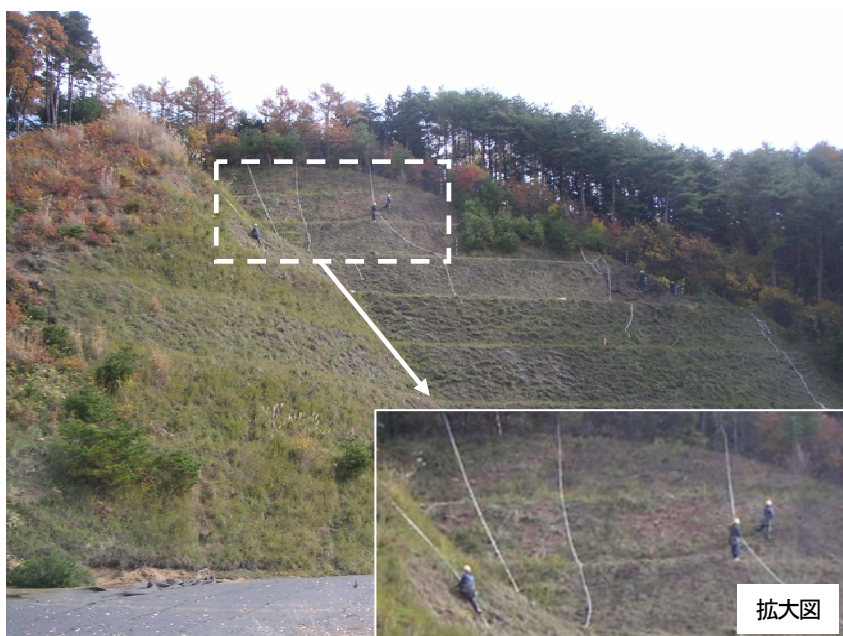
回収した鉛弾混じり土砂をその場で篩（フルイ）にかけ、土砂と鉛弾に分離している。



【対策例】

この射撃場では、鉛弾混じり土砂を土嚢に入れて回収している。

1. (1) 植生の除去で紹介した写真と同じ現場。植生を除去することで、人力作業が可能となっている。



【対策例】

鉛弾混じりの表層土を回収している状況。法勾配が急なため、安全ロープを用いて回収作業を行っている。

【対策費用】

処理費：9,000 円/t

運搬費：9,000 円/t

合計：18,000 円/t

(上記金額は鉛弾と土壌の処理費で、ワッツやクレーなどの廃棄物処理費用は含まない)

拡大図